

# 2023年度 第2四半期決算

---

## 決算説明会資料

2023年8月10日  
横浜ゴム株式会社

## 第2四半期累計実績

### <第2四半期累計実績>

売上収益：4,432億円  
(過去最高)

事業利益：256億円  
(対予想：+41億円)

当期利益：277億円  
(対前年：+44億円)

- ◆ **タイヤ**  
増収増益 (量増、海上運賃減、未実現利益悪化)
- ◆ **YOHT**  
販売量減、高利益率維持
- ◆ **Y-TWS**  
買収一過性費用
- ◆ **MB**  
大幅増益 (コンベヤベルト/海洋/航空部品)

## 業績予想

### <通期>

売上収益：1兆円  
事業利益：845億円

- ◆ **通期**  
前回予想を据え置き

## 資本効率

### □ 成長戦略

- ✓ **Y-TWS**  
上期 対前年増益 (買収一時費用除く)

### □ 資産売却

- ✓ **政策保有株式売却**  
上期売却収入 約135億円  
年間売却収入 (予定) 300億円超

### □ 資本コスト

- ✓ **買収資金リファイナンス**  
6月末 3,147億円  
(長期 (10年) 固定/低利)
- ✓ **発行体格付『A+』維持** (JCR 6月29日)

# 2023年度 第2四半期 連結業績

# 損益実績 (第2四半期累計)



為替レート	US\$ 135円	123円(前期)	+12円
	EUR 146円	134円(前期)	+12円
	RUB 1.8円	1.7円(前期)	+0.1円
TSR20※	136 <sup>円</sup>	171 <sup>円</sup> (前期)	▲35 <sup>円</sup> ※SICOM TSR20 1M
WTI	75 <sup>ドル</sup>	101 <sup>ドル</sup> (前期)	▲26 <sup>ドル</sup>

(億円)

	2023年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減	前回予想	前回比 増減	増減率
売上収益	4,432	3,915	+517	+13.2%	+206	+311	4,500	▲68	▲1.5%
事業利益 ※1 (事業利益率)	256 (5.8%)	277 (7.1%)	▲22 (▲1.3%)	▲7.8%	+57	▲79	215 (4.8%)	+41 (+1.0%)	+18.9%
営業利益 (営業利益率)	282 (6.4%)	269 (6.9%)	+12 (▲0.5%)	+4.6%	+58	▲46	235 (5.2%)	+47 (+1.2%)	+19.9%
当期利益 ※2	277	233	+44	+18.8%			175	+102	+58.2%

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業別セグメント（第2四半期累計）

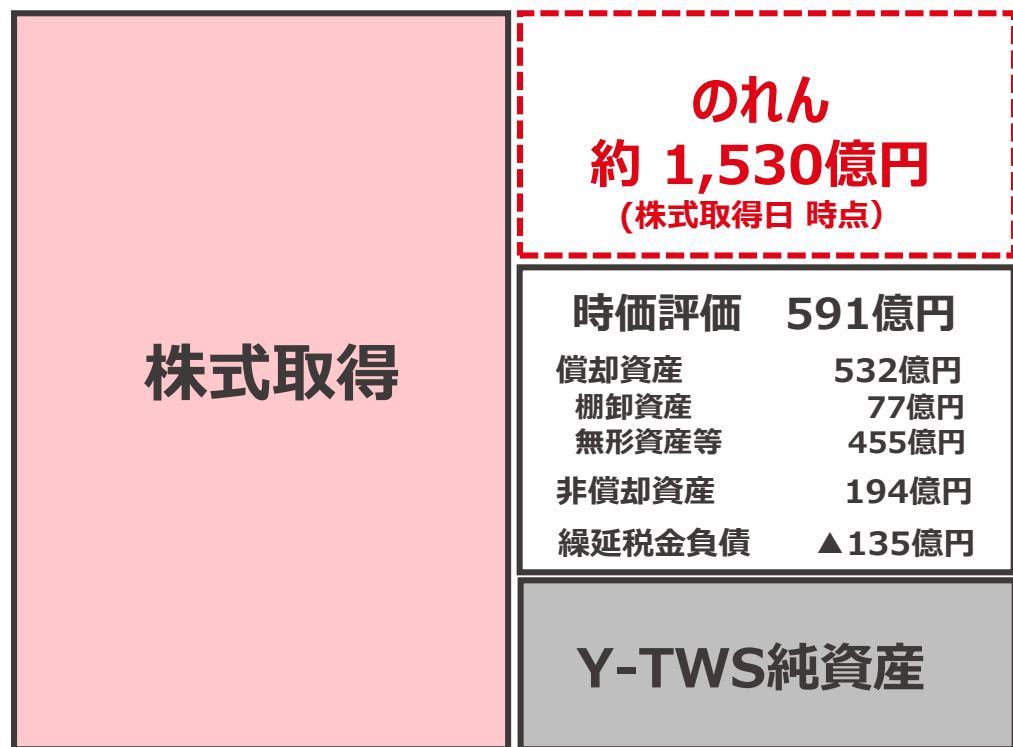


（億円）

		2023年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減	前回予想	前回は 増減
売上 収益	タイヤ 合計	3,895	3,412	+482	+14.1%	+186	+296	3,960	▲65
	（タイヤ）	(2,919)	(2,621)	(+298)	(+11.4%)	(+126)	(+172)	(2,970)	(▲51)
	（YOHT）	(671)	(791)	(▲120)	(▲15.2%)	(+61)	(▲181)	(690)	(▲19)
	（Y-TWS）	(305)	-	(+305)	-	-	(+305)	(300)	(+5)
	MB	490	451	+39	+8.6%	+19	+20	490	+0
	その他	46	51	▲5	▲9.2%	+0	▲5	50	▲4
	合計	4,432	3,915	+517	+13.2%	+206	+311	4,500	▲68
事業 利益	タイヤ 合計	230	264	▲34	▲13.0%	+53	▲87	197	+33
	（タイヤ）	(155)	(143)	(+12)	(+8.5%)	(+45)	(▲33)	(145)	(+10)
	（YOHT）	(84)	(121)	(▲36)	(▲30.1%)	(+8)	(▲44)	(88)	(▲4)
	（Y-TWS）	(▲10)	-	(▲10)	-	-	(▲10)	(▲36)	(+26)
	MB	27	10	+17	+171.8%	+5	+13	21	+6
	その他	▲2	3	▲5	-	+0	▲5	▲3	+1
	セグメント間消去	0	0	▲0	▲20.0%	-	▲0	-	+0
	合計	256	277	▲22	▲7.8%	+57	▲79	215	+41

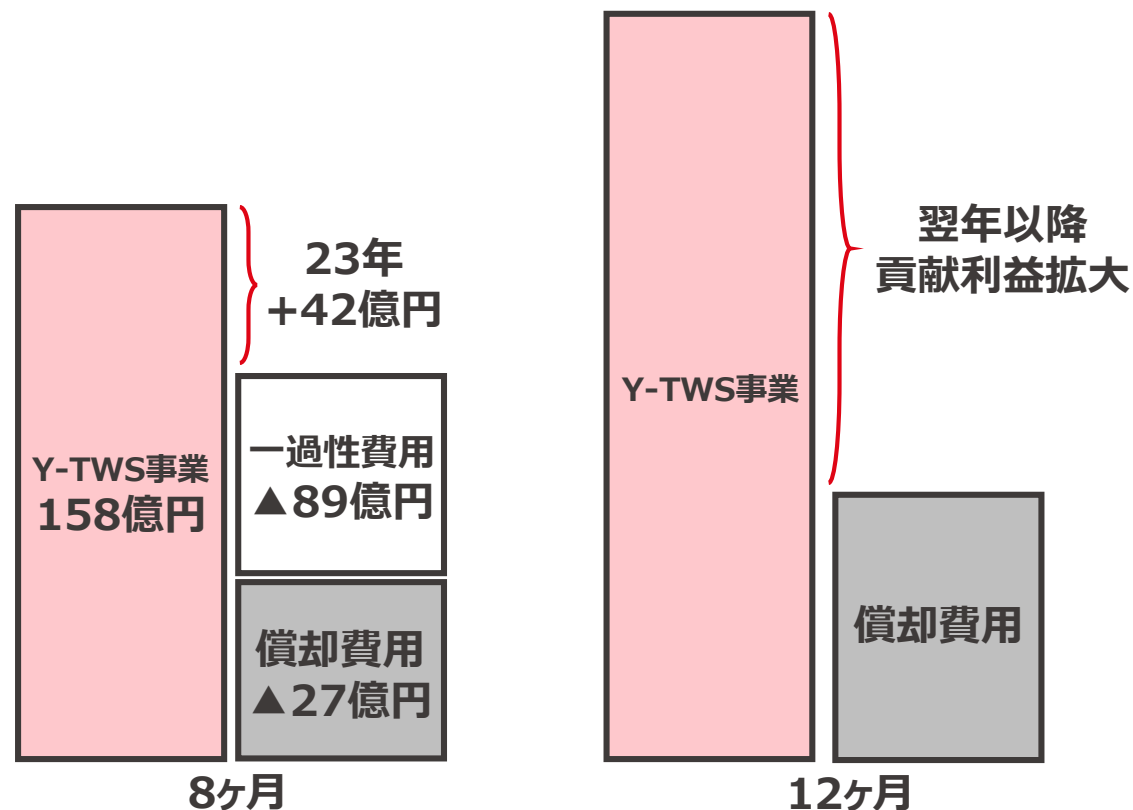
## BS影響

- 買収時点におけるY-TWSの資産・負債を公正価値で時価評価
- 純資産に時価評価による増加分 591億円を加え  
取得対価から差し引いて算出されるのれんは約1,530億円



## PL影響イメージ

- 2023年は8ヶ月分の獲得利益が寄与するも、棚卸資産や専門家費用などの一過性費用を計上
- 翌年度以降は12か月分の獲得利益に加え、一過性費用がなくなるため貢献利益は大きく増加



※上記金額は精査中であり、暫定的な会計処理となります。

## 第2四半期 実績

	2023年 5-6月	2022年 5-6月	増減	増減率
売上収益	305	310	▲5	▲1.6%
事業利益 (償却前) (事業利益率)	47 (15.4%)	43 (13.9%)	+4 (+1.5%)	+8.7%
一過性費用	▲50			
償却費用	▲7			
事業利益 (償却後)	▲10			

✓ 一過性費用は、金額/期間配分の見直しにより19億円減（年間は19億円増）

## 2023年 通期 業績予想（8ヶ月分）

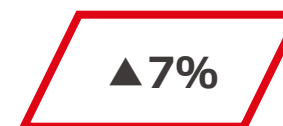
	2023年 5-12月	2022年 5-12月	増減	増減率
売上収益	1,100	1,171	▲71	▲6.0%
事業利益 (償却前) (事業利益率)	158 (14.4%)	129 (11.0%)	+29 (+3.4%)	-
一過性費用	▲89			
償却費用	▲27			
事業利益 (償却後)	42			

(単位 億円)

前回予想	前回比 増減
300	+5
43 (14.5%)	+4 (+0.9%)
▲69	+19
▲10	+3
▲36	+26

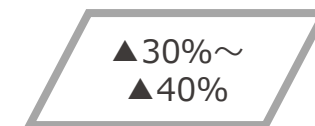
## 第2四半期 販売状況

TWS販売実績



・販売実績 (t)

AG市場



・欧米市販用本数：当社推定値

(単位 億円)

前回予想	前回比 増減
1,100	-
139 (12.6%)	+20 (+1.8%)
▲71	▲19
▲26	▲1
42	-

# 事業利益増減要因

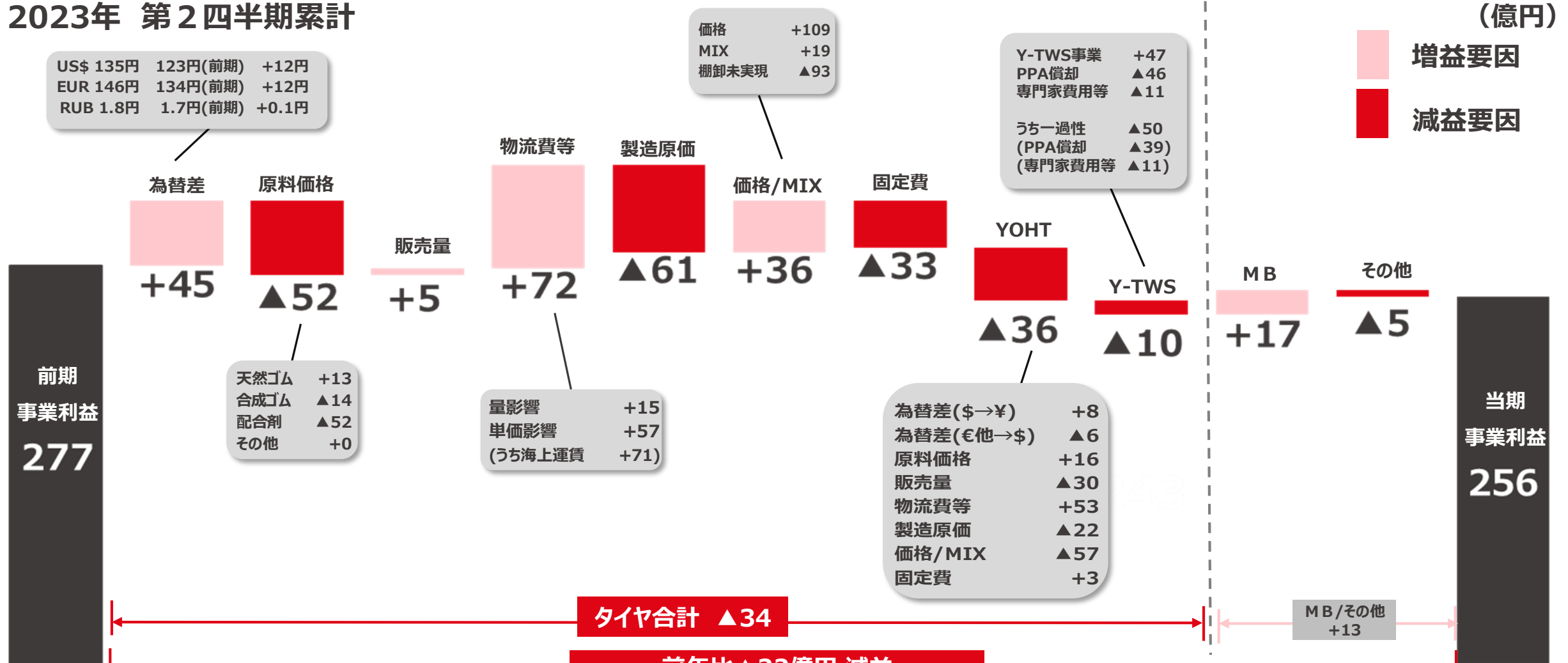


## 2023年 第2四半期累計

(億円)

増益要因

減益要因



	為替差	原料価格	販売量	物流費等	製造原価	価格/MIX	固定費	YOHT	Y-TWS	MB	その他	合計
前回予想	+45	▲58	+9	+60	▲75	+69	▲48	▲33	▲36	+11	▲6	▲62
前回比	+0	+6	▲4	+12	+14	▲33	+15	▲4	+26	+6	+2	+41



# 損益実績 (四半期別)



為替レート	US\$ 132円	116円(前期)	+16円
	EUR 142円	130円(前期)	+12円
	RUB 1.8円	1.3円(前期)	+0.5円
TSR20※	137ㇾ	177ㇾ(前期)	▲40ㇾ
WTI	76ㇾ	94ㇾ(前期)	▲18ㇾ

US\$ 137円	130円(前期)	+8円
EUR 150円	138円(前期)	+11円
RUB 1.7円	2.0円(前期)	▲0.3円
135ㇾ	165ㇾ(前期)	▲31ㇾ
74ㇾ	108ㇾ(前期)	▲35ㇾ

※SICOM TSR20 1M

(億円)

	2023年 1-3月	2022年 1-3月	前年比 増減	為替 影響	為替除く 増減	2023年 4-6月	2022年 4-6月	前年比 増減	為替 影響	為替除く 増減
売上収益	2,043	1,856	+187	+151	+36	2,389	2,059	+330	+54	+275
事業利益 ※1	130	137	▲7	+46	▲53	126	141	▲15	+11	▲26
(事業利益率)	(6.4%)	(7.4%)	(▲1.0%)			(5.3%)	(6.8%)	(▲1.5%)		
営業利益	132	135	▲3	+46	▲49	150	134	+16	+12	+3
(営業利益率)	(6.5%)	(7.3%)	(▲0.8%)			(6.3%)	(6.5%)	(▲0.2%)		
当期利益 ※2	97	102	▲5			180	132	+48		

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する四半期利益及び当期利益

# 事業別セグメント (第2四半期)



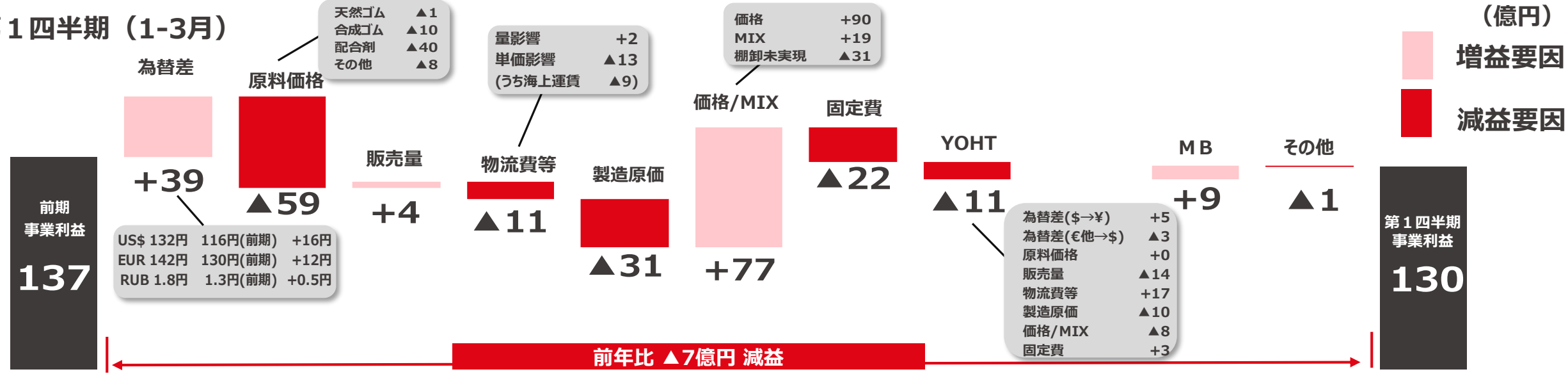
(億円)

		2023年 4-6月	2022年 4-6月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減
売上 収益	タイヤ 合計	2,098	1,783	+315	+17.7%	+48	+267
	(タイヤ)	(1,454)	(1,356)	(+98)	(+7.3%)	(+28)	(+70)
	(YOHT)	(339)	(428)	(▲88)	(▲20.7%)	(+19)	(▲108)
	(Y-TWS)	(305)	-	(+305)	-	-	(+305)
	MB	265	247	+19	+7.6%	+7	+12
	その他	25	29	▲4	▲13.4%	+0	▲4
	合計	2,389	2,059	+330	+16.0%	+54	+275
事業 利益	タイヤ 合計	104	124	▲20	▲15.8%	+9	▲29
	(タイヤ)	(72)	(57)	(+15)	(+26.9%)	(+7)	(+9)
	(YOHT)	(42)	(67)	(▲25)	(▲37.3%)	(+2)	(▲27)
	(Y-TWS)	(▲10)	-	(▲10)	-	-	(▲10)
	MB	21	12	+8	+68.1%	+2	+7
	その他	0	4	▲4	▲89.0%	+0	▲4
	セグメント間消去	0	0	▲0	▲18.8%	-	▲0
合計	126	141	▲15	▲10.7%	+11	▲26	

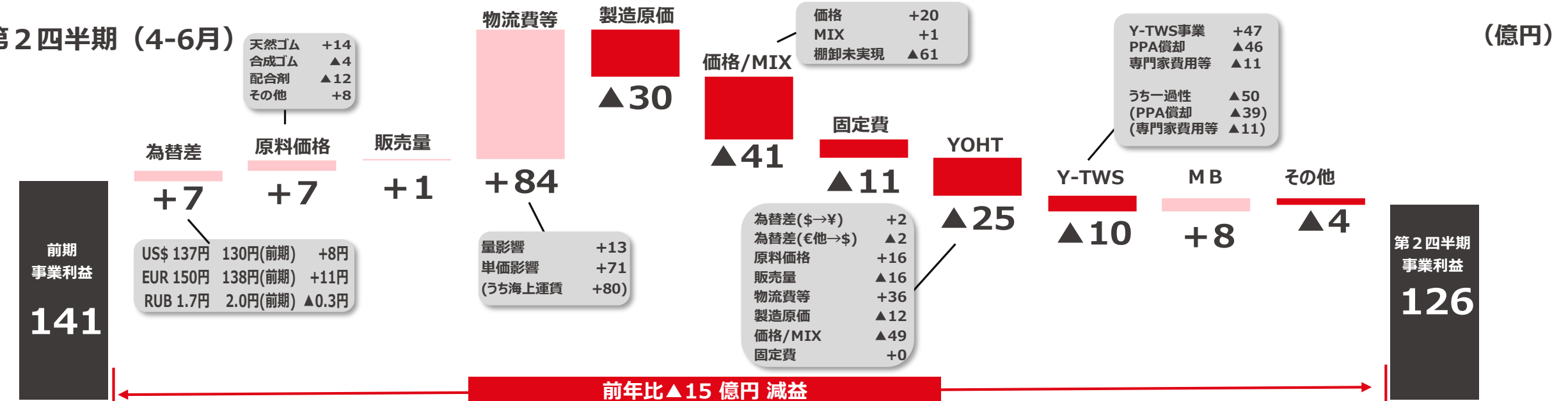
# 事業利益増減要因 (四半期別)



## 第1四半期 (1-3月)



## 第2四半期 (4-6月)



# 財務状況 (前期末比)



(億円)

	23/6月末	22/12月末	前期末比 増減
<b>流動資産</b>	<b>6,303</b>	<b>5,040</b>	<b>+1,263</b>
現金及び現金同等物	905	756	+149
営業債権及びその他の債権	2,321	1,937	+383
棚卸資産	2,721	2,164	+557
その他の資産	357	183	+174
<b>非流動資産</b>	<b>9,980</b>	<b>6,471</b>	<b>+3,509</b>
<b>資産合計</b>	<b>16,283</b>	<b>11,511</b>	<b>+4,772</b>
<b>負債</b>	<b>9,062</b>	<b>5,280</b>	<b>+3,782</b>
<b>資本</b>	<b>7,221</b>	<b>6,231</b>	<b>+989</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>16,283</b>	<b>11,511</b>	<b>+4,772</b>
<b>有利子負債 (※1)</b>	<b>5,514</b>	<b>2,387</b>	<b>+3,127</b>
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>43.8%</b>	<b>53.4%</b>	<b>▲9.5%</b>
<b>D/Eレシオ</b>	<b>0.77</b>	<b>0.39</b>	<b>+0.38</b>
<b>ネットD/Eレシオ</b>	<b>0.65</b>	<b>0.27</b>	<b>+0.38</b>

※1 有利子負債には、「リース負債」を含めておりません。

	(億円)		
	2023年 1-6月	2022年 1-6月	前年比 増減
営業活動によるCF	491	83	+ 409
投資活動によるCF	▲ 3,349	▲ 248	▲ 3,100
フリー CF	▲ 2,857	▲ 166	▲ 2,692
財務活動によるCF	2,961	365	+ 2,596
現金同等物の期末残高	905	718	+ 187

# 2023年度 業績予想

# 2023年度 業績予想 (通期)

(前回予想から変更なし)



## 2023年度7月以降 想定

為替レート	US\$ 130円	133円(前回)	▲3円	
	EUR 143円	146円(前回)	▲3円	
	RUB 1.6円	1.7円(前回)	▲0.2円	
TSR20※	130 <sup>円</sup>	126 <sup>円</sup> (前回)	+4 <sup>円</sup>	※SICOM TSR20 1M
WTI	75 <sup>ドル</sup>	78 <sup>ドル</sup> (前回)	▲3 <sup>ドル</sup>	

					(億円)	
	2023年 予想	2022年 実績	増減	増減率	2023年 前回予想	前回比 増減
売上収益	10,000	8,605	+1,395	+16.2%	10,000	-
事業利益 ※1	845	701	+144	+20.6%	845	-
(事業利益率)	(8.5%)	(8.1%)	(+0.4%)		(8.5%)	-
営業利益	870	689	+181	+26.4%	870	-
(営業利益率)	(8.7%)	(8.0%)	(+0.7%)		(8.7%)	-
当期利益 ※2	570	459	+111	+24.1%	570	-

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業別セグメント (通期)

(前回予想から変更なし)



						(億円)	
		2023年 予想	2022年 実績	増減	増減率	2023年 前回予想	前回比 増減
売上 収益	タイヤ 合計	8,870	7,543	+1,327	+17.6%	8,870	—
	(タイヤ)	(6,360)	(5,985)	(+375)	(+6.3%)	(6,360)	—
	(YOHT)	(1,410)	(1,558)	(▲148)	(▲9.5%)	(1,410)	—
	(Y-TWS)	(1,100)	—	(+1,100)	—	(1,100)	—
	MB	1,035	962	+73	+7.5%	1,035	—
	その他	95	99	▲4	▲4.2%	95	—
	合計	10,000	8,605	+1,395	+16.2%	10,000	—
事業 利益	タイヤ 合計	780	668	+112	+16.7%	780	—
	(タイヤ)	(561)	(447)	(+114)	(+25.4%)	(561)	—
	(YOHT)	(177)	(221)	(▲44)	(▲19.9%)	(177)	—
	(Y-TWS)	(42)	—	(+42)	—	(42)	—
	MB	62	40	+22	+56.4%	62	—
	その他	3	▲8	+11	—	3	—
	セグメント間消去	—	0	▲0	—	—	—
	合計	845	701	+144	+20.6%	845	—



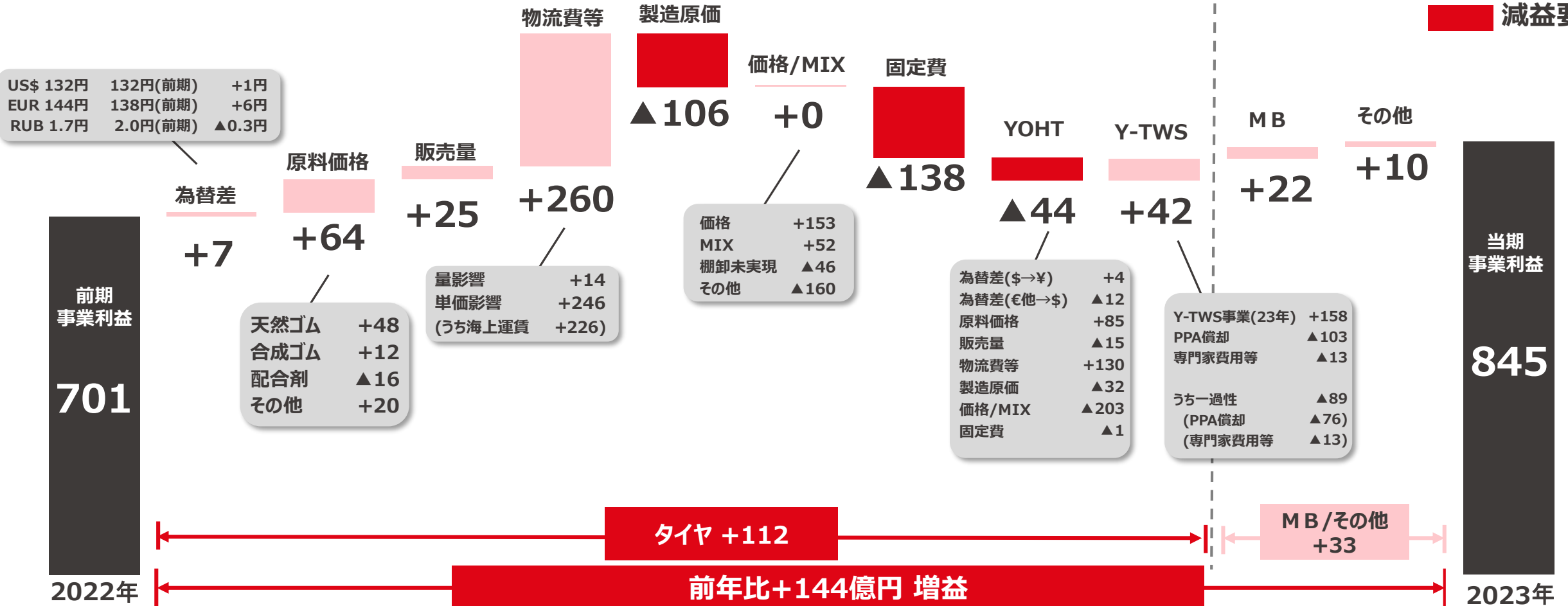
# 事業利益増減要因 (通期)



2023年 (通期予想)

(億円)

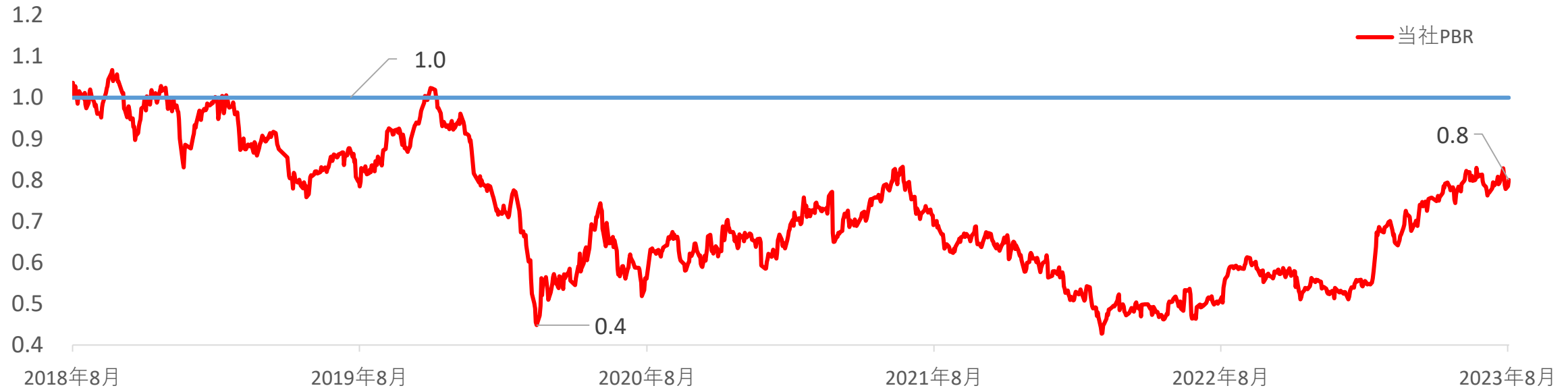
増益要因  
減益要因



	為替差	原料価格	販売量	物流費等	製造原価	価格/MIX	固定費	YOHT	Y-TWS	MB	その他	合計
前回予想	+3	+37	+17	+237	▲110	+37	▲107	▲44	+42	+22	+10	+144
前回比	+5	+28	+9	+23	+4	▲37	▲31	-	-	-	-	-

# 資本効率の改善

## □ 市場評価 – 過去5年PBR推移



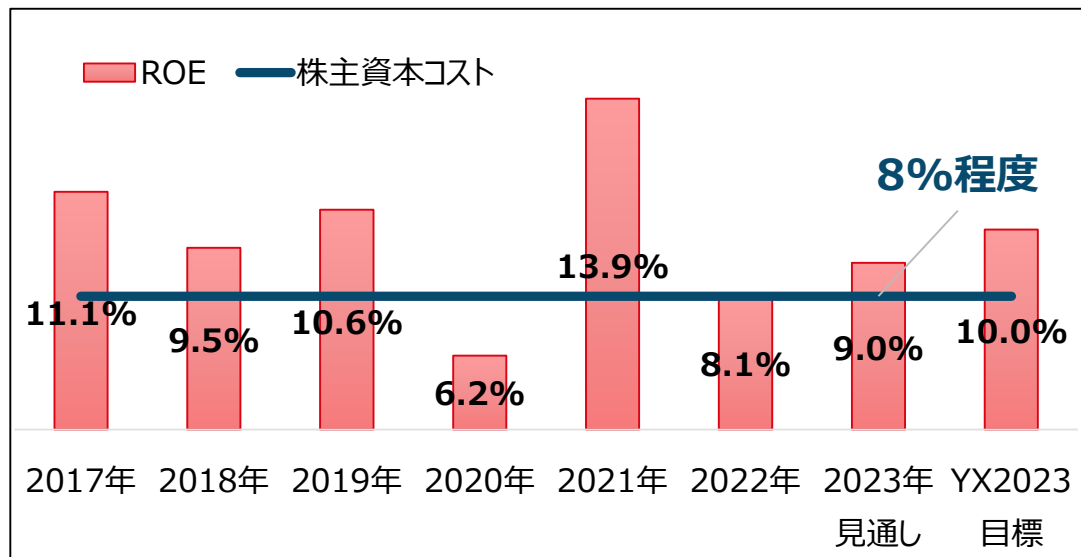
- ✓ PBRは、コロナの影響などもあり2020年に0.4倍まで低下し、足元0.8倍まで改善したものの、1倍には未達
- ✓ 資本市場との対話では、成長ドライバーであるOHT事業・市場の魅力をよりアピールしてほしいなどのご意見を頂戴
- ✓ 対話の促進や開示改善により、当社の成長戦略についてよりご理解いただけるように努め、市場評価の向上を図る

## □ 資本収益性・資本コスト

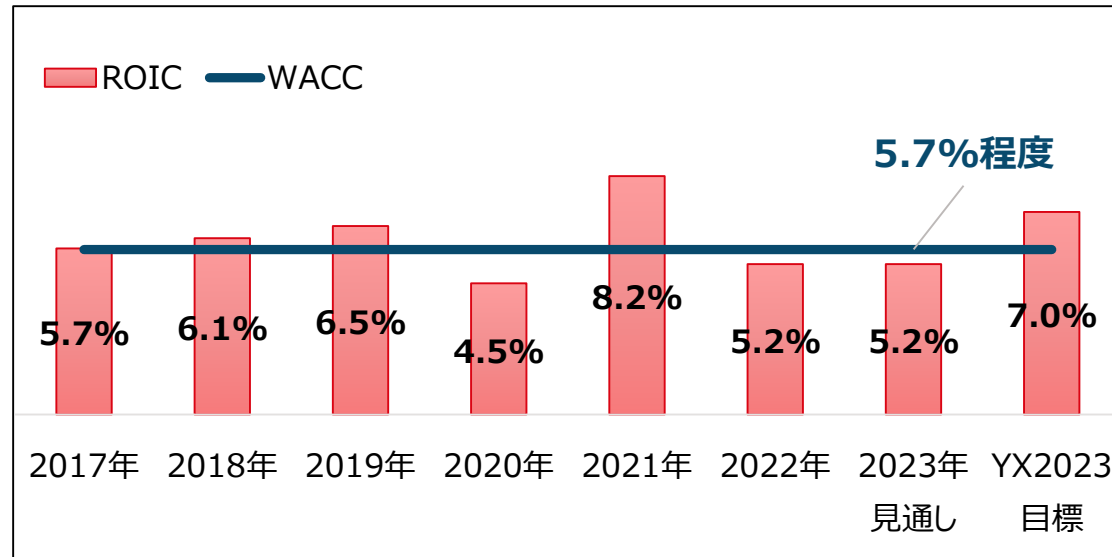
### 資本収益性の向上

- ✓ **資産圧縮**：資産売却や手元資金削減などのB/Sマネジメントにより、資産効率の向上と有利子負債の圧縮を図る
- ✓ **成長投資**：営業CF及び政策保有株式などの資産売却により創出した資金をTWS買収などの戦略分野へ積極投資、収益力を向上
- ✓ **資本コスト経営**：厳格な投資採択基準（割引回収期間法/投資国別ハードルレート）により投資を厳選、資本収益性を向上

ROE / 株主資本コスト



ROIC / WACC



\*1.株主資本コスト：CAPM及び投資家との対話から推定

\*2.WACC：CAPMベース

# 資本効率の改善③ 企業価値の向上

- 戦略投資によるROE向上とサステナビリティ機会の活用によるサステナビリティ価値向上により、企業価値を向上
- 資本市場との対話促進による、資本コストの低減と期待成長率の向上

企業価値向上

$$\text{PBR} = \frac{P}{\text{BPS}} = \text{ROE} \times \frac{P}{\text{EPS}} = \text{ROE} \times \text{PER}$$

増収増益

- ・深化（高付加価値品比率の最大化）
- ・探索（TWS買収）

戦略投資

- ・MIX投資
- ・OHT増産/M&A

投資判断

- ・割引回収期間法
- ・投資国別ハードル

資本効率

- ・資産売却（不動産、政策保有株式、事業）
- ・現預金削減（グループ資金活用）

財務レバレッジ

- ・適度な財務レバレッジ：負債活用、JCR発行体格付『A+』
- ・最適資本構成管理に基づく配当

ROE > CoE  
(エクイティプレット)

8%以上

サステナビリティ価値  
(非財務資本)

- ・サステナビリティ 機会の活用：収益力向上 (EV)
- ・サステナビリティ リスクへの対応：資本コスト低減  
(カーボンニュートラル、サキエラ-III)



PER

$$\frac{P}{\text{EPS}}$$

1

R (資本コスト) - g (期待成長率)

価値向上  
のための  
対話

R (資本コスト) 低減

- ・対話促進：IR（対話推進、社長メールミーティング）
- ・負債活用：強固なバンクフォーメーション
- ・ガバナンス：監査等委員会設置会社（2023年3月）

g (期待成長率) 向上

持続的  
成長

- ・ YX2023：『深化』と『探索』  
(サステナビリティ/市場変化の取り込み)
- ・ 成長性： OHT事業/市場の魅力、成長性の発信

企業価値向上

PBR1倍以上

## 将来見通しに関する注意事項

この資料に含まれている将来に関する見通しや予測は、現在入手可能な情報を基に当社の経営者が判断したものです。実際の成果や業績は、さまざまなリスクや不確定な要素により、記載されている内容と異なる可能性があります。

# (ご参考) タイヤ販売本数前年比伸張率

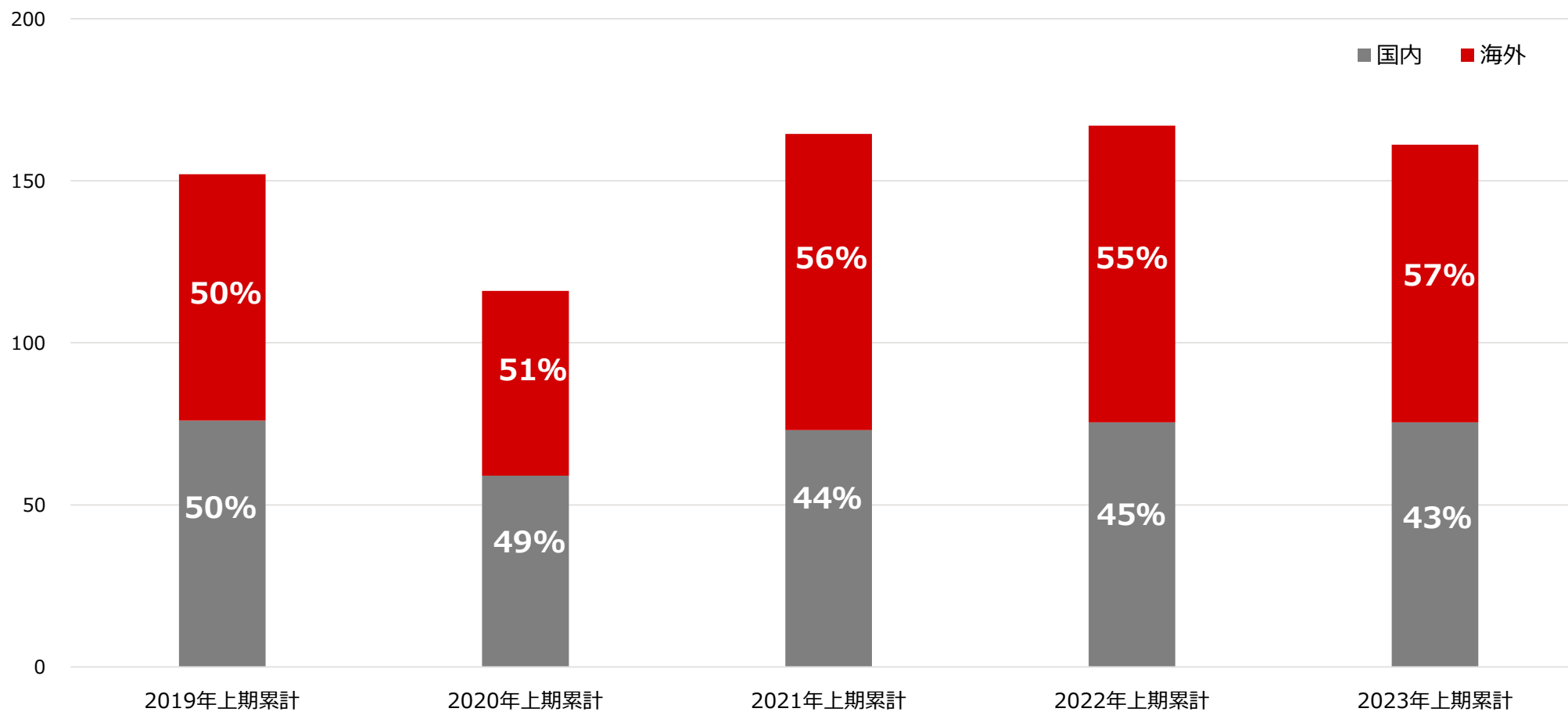
## 販売本数伸張率

タイヤ事業		2022年			2023年		
		2Q単体	上期累計	年間累計	2Q単体	上期累計	年間予想
国内	OE	80%	84%	98%	117%	112%	115%
	REP	106%	115%	108%	97%	98%	100%
海外	OE	95%	104%	100%	91%	83%	92%
	REP	103%	102%	102%	105%	107%	104%

## 地域別販売本数前年伸張率／四半期・年間

	2022年			2023年			地域別構成比		
	2Q単体	上期累計	年間累計	2Q単体	上期累計	年間予想	2022年 年間	2023年 2Q単体	2023年 上期累計
日本	96%	103%	105%	103%	102%	104%	39%	36%	37%
北米	99%	102%	103%	102%	101%	100%	20%	21%	21%
欧州	110%	114%	101%	89%	102%	103%	6%	6%	7%
ロシア	31%	63%	59%	273%	126%	-	2%	3%	3%
中国	94%	100%	97%	94%	85%	96%	16%	15%	14%
アジア	137%	121%	119%	100%	106%	107%	12%	13%	12%
その他	106%	96%	101%	101%	121%	101%	5%	6%	6%
合計	99%	103%	103%	102%	101%	102%	-	-	-

# (ご参考) タイヤ生産ゴム量実績 (年間累計推移)



(単位：千トン)

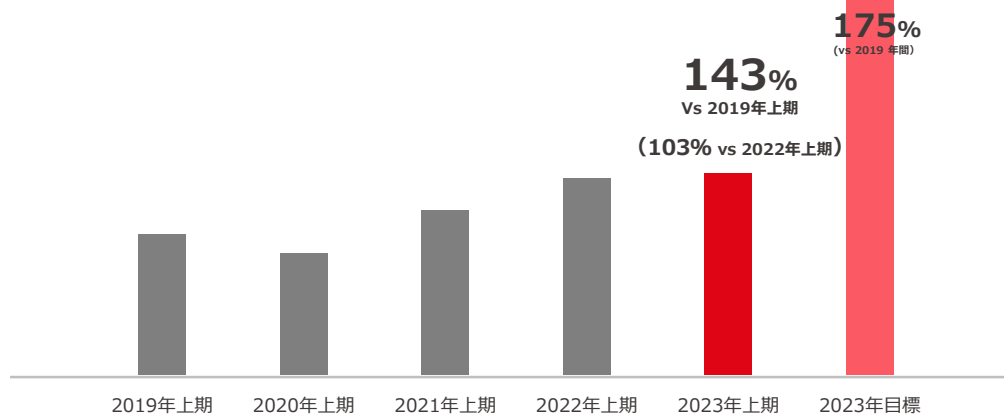
	2019年上期累計	2020年上期累計	2021年上期累計	2022年上期累計	2023年上期累計
国内	76	59	73	76	75
海外	76	57	91	92	86
合計	153	116	165	167	161



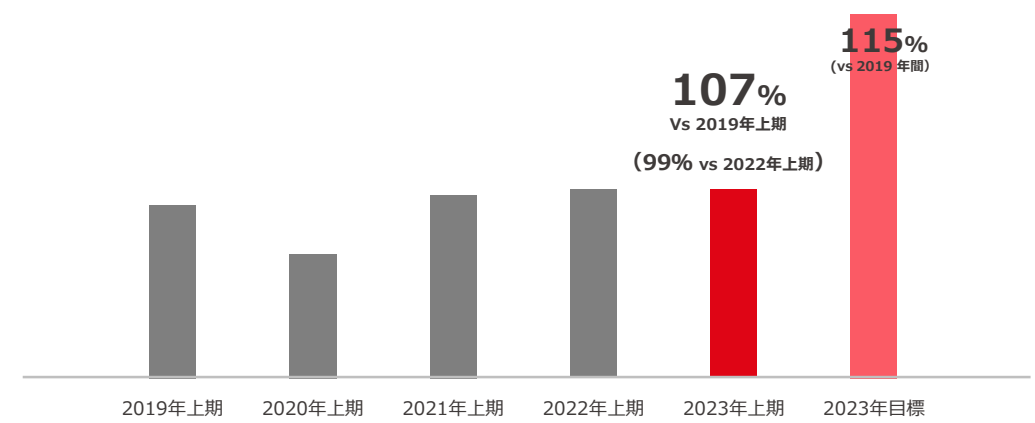
# (ご参考) タイヤ消費財商品別販売本数累計推移



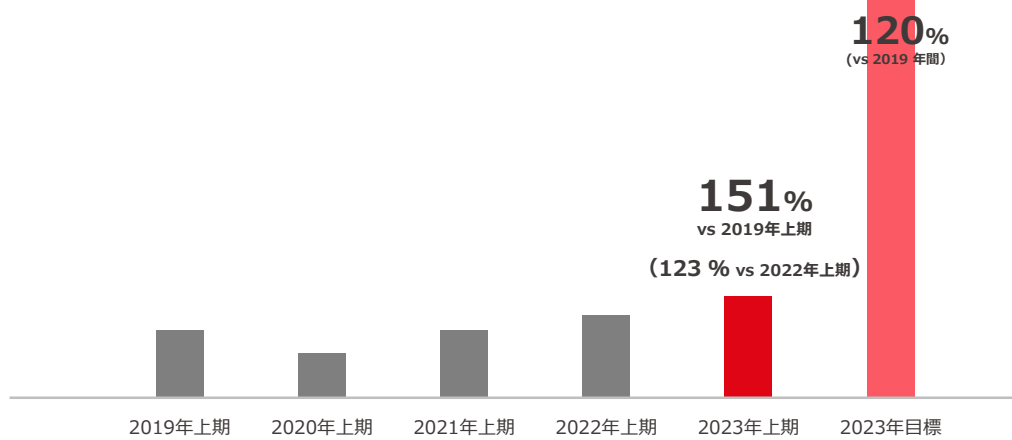
## ADVAN



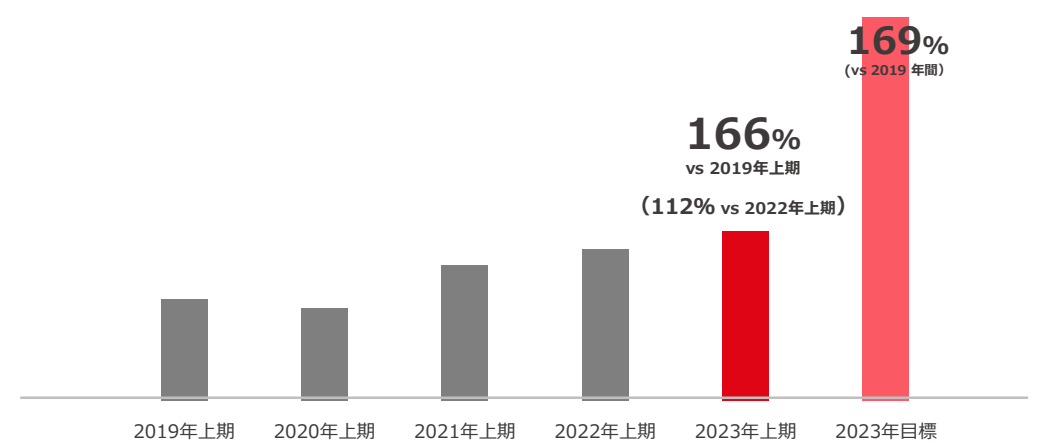
## GEOLANDAR



## WINTER



## 18インチ以上





YOKOHAMA Transformation 2023